



# BGN UNESCO NEWS

October 17<sup>th</sup> 2019

Bunka Gakuen Nagano Jr. & Sr. High School No 5

長野県教育委員会主催『信州つばさプロジェクト』**3名合格!!**



長野県の高校生が、信州に根ざした確かなアイデンティティと、世界に通じる国際的視野を持ち、将来世界の様々な分野で活躍できる人材として成長できるように海外留学を推進するとともに、社会全体で留学への気運を盛り上げる仕組みをつくり、県と民間、協働で高校生の海外留学を支援するための企画『信州つばさプロジェクト』に、台湾へ1名、カンボジアへ2名が合格しました。

9月29日には、結団式及び第1回事前学習会が開催されました。

台湾へ **下原 茉奈(2年)**      カンボジアへ **飯田 陽美(2年)**      カンボジアへ **鈴木 遥菜(2年)**

Q) 今回のプログラムで最も学びたい事は何ですか？

SDGs 目標4の「質の高い教育」に関心を持ち、探究学習として取り上げた。近くに学校が無かったり、あったとしても教える教員が十分にいなかったり、子ども達が労働力として働かなければならない国もある。台湾の高校や公的機関の訪問の際に、「質の高い教育とは何か」質問することを一つの目標とした。また、「質の高い保育」を日本で行うにはどうしたら良いのかを体験から考え、できることを実行したいと思っている。(下原)

私は、食・健康・福祉について学びたい。カンボジアの食と健康状態の関係を調べ、病気との因果関係を探ってみたい。長野はかつて「減塩運動」で長寿県となっているので、食と健康へのカンボジアの方々の考えも直接聞いてみたいと思う。また、SDGs 目標3「全ての人に健康と福祉を」を本年時自分の研究テーマにしているので、医療事情もこの目で見たい。カンボジアで一番大切にしている健康活動は何だろう。また出産医療は日本と同じだろうか。現地で学んだことを活かし、日本に住んでいる私に何が出来るかを考えて、より多くの人々が意識して協力できることを探っていこうと考えている。(飯田)

県内にいる色々な考えを持った学生たちと事前学習で深く関わり、様々な考えを共有し合いたい。そしてSDGs 目標1.4.16と目標14がどのように関わるのか、事前にしっかりと考察を立てたい。そして実際に現地へ赴き、現地の人々と関わった自分だからこそ考えられたボランティアを日本で行いたいと思う。またそれらを学校の生徒たち、先生方にプレゼンテーションを行いたい。

どの人にもそれぞれの幸せがあると信じているので、カンボジアへ行くまでにクメール語を少しでも身に付け、現地の方に「しあわせ」をノートに書いてもらったり、インタビューをしたりして、彼らの幸せを一番に考えていきたいと思う。(鈴木)

## Think globally, act locally.

地球規模で考え、足元から行動せよ



### 長野の持続不可能を探してみよう

あなたは 長野の未来の課題を設定することができますか？

カメラをもって長野を歩いてみよう！



<例> 撮影場所：長野

- (左の写真) : 独居老人がホームに入り、荒れてしまった家屋。)
- (中央の写真) : 住人が転居され、10年近く放置されている家屋。)
- (右の写真) : 住人が亡くなられて20年近く放置されている家屋。)

<SDGs との関係>

- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 17. パートナースhipで目標を達成しよう

